

# 農学部 地球は愛と農学で回っている。

Faculty of Agriculture

環境問題、資源・エネルギー、生命、食料…。  
私たちが直面している問題は、どれも農学が深く関わっている。  
この美しい星を守るために、人類の未来と幸福を支えるために、  
宮崎の恵まれた自然環境の中で、農学と真剣に向き合える。

2024年  
農学部は  
創立100周年  
を迎えます

100th  
Anniversary



農学部長  
國武久登

農学部は、「持続可能な地域社会の構築と世界への発信-SDGsへの取り組みとデータサイエンスの融合-」というスローガンのもと、南九州の温暖な自然や地域社会と調和した農林水産業・獣医療の推進を通して、持続可能な社会の構築と、それを担う人材の育成を目指しています。また、植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境科学科、畜産草地科学科および獣医科学科の6つの学科で構成されており、お互いに連携しながら、皆さんの新たな興味や好奇心を引き出すようにカリキュラムが構成されています。

農学部の前身である宮崎高等農林学校が1924年に設置されて以来、時間と共に伝統と革新が融合した教育・研究組織となり、同窓生はまもなく2万人となります。記念すべき100周年を迎える農学部で共に学び、地球環境と食料生産の未来を創造しましょう。

## ■農学部 各学科

### 植物生産環境科学科

地球に優しく安全・安心な食料生産を目指す  
食の安全・安心を追求し、グローバルな植物生産の知識と開発力・指導力を有する人材を育てる。

P45

### 森林緑地環境科学科

みどりの恩恵を科学する  
自然環境保全と安全で快適な生活環境の形成、森林緑地の機能の解明と管理技術の確立を通してSDGsに貢献する。

P47

### 応用生物科学科

化学をツールに「生命・食料・環境」を科学する  
地球規模で人類が直面すると予測される生命・食料・環境問題に応えるための人材を育てる。

P49

### 海洋生物環境科学科

海の未知を科学する  
海の生物や環境の未来を柔軟に考え、無限の可能性を秘めた「海の力」を暮らしのイノベーションに変える。

P51

### 畜産草地科学科

家畜と草地の両視点から「考える」教育  
畜産の知識を生かし、飼料の自給率向上をはかりながら、飼料資源をリサイクルする科学を確立する。

P53

### 獣医科学科

最先端の教育・研究環境で高い実践力を習得  
専門科目ごとに設置されている11講座と附属動物病院が、他学科と協力しながら、獣医学を実践。

P55



## ■教育理念

農学部は、食料、環境、資源及び生命に関する基礎知識の理解をもとに、広い視野で物事を考える総合的判断力や問題解決能力を涵養しつつ、社会の要請に応えるための農学に関する高度な専門性と技術を修得させ、それらに関する問題解決を通じて地域と国際社会に貢献できる人材を育成することを理念とする。

## ■教育目標

- 幅広い教養と食料、環境、資源及び生命に関する基礎知識に加え、農学分野における高度な知識及び技術を用いて社会のさまざまな課題を探索し解決できる能力を養成する。
- フィールドにおける実践教育を推進し、農学分野において、地域と国際社会に貢献できる人材を育成する。
- 専門技術者としての倫理観、情報収集能力、文章表現能力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を高める教育を行う。

## ■入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

農学部では、その教育理念にもとづいた教育目標を達成するために、「知識・理解」、「思考力」、「表現力」、「主体性」、「協調性」、「学問への関心」を有する人材を求めています。このために、一般、総合型、学校推薦型、帰国生徒、社会人、留学生、編入学といった多様な入試を実施し、それぞれの入試においては、客観的で透明性のある方法によって入学者を公平に選抜します。

## ■卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

農学部では、宮崎大学学務規則に規定する修業年限以上在学し、各学科所定の単位数を修得し、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定し、学士(農学)の学位を与える。(獣医学科は学士(獣医学)の学位を与える)

- 人間性・社会性・国際性:社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 主体的に学ぶ力:自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- コミュニケーション能力:相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。
- 課題発見・解決力:課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。
- 知識・技能:学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。

### 全学科に共通する知識・技能

- 文化、社会、自然、地域の理解:人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 農学に関する基礎知識:農学に関する基礎知識を有し、社会で活用できる。

### 植物生産環境科学科

- 植物生産に関する基礎的・応用的知識:植物生産に関する基礎知識を有し、社会で活用できる。
- 生産環境に関する基礎的・応用的知識:生産環境に関する基礎知識を有し、社会で活用できる。
- 環境調和型農業に関する基礎的・応用的知識:環境調和型農業に関する基礎知識を有し、社会で活用できる。
- 植物生産と生産環境に関する国際的視点、社会貢献力及び指導力:植物生産と生産環境に関する国際的視点、社会貢献力及び指導力を有し、社会で活用できる。

### 森林緑地環境科学科

- 森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力:森林・緑地の機能に関する広い知識を修得し、国内外の諸課題に対応できる。
- 自然環境や国土保全、水資源利用に関する基礎的・応用的知識:自然環境や国土の保全、水資源の安定的な利用など、安全で持続可能な国土づくりに寄与できる。
- 樹木・菌類、非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識:樹木・菌類、非生物材料等の特性を深く理解し、適切に活用することができる。
- 多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力:自然環境と生物資源利用の調和を目指した森林緑地管理を計画・実行できる。
- 環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力:環境と調和した材料の開発や緑化を実践できる。

### 応用生物科学科

- 数学および自然科学に関する基礎知識:数学および化学、生物などの自然科学について理解し、応用できる。
- 応用生物科学に関する知識:応用生物化学・微生物機能開発学・植物機能科学・食品科学・動物資源科学の5分野に関する基礎および専門知識を理解し、それを問題解決に応用できる。
- 技術者の社会的責任に関する理解:応用生物科学の知識・技術が社会に及ぼす影響を認識し、技術者として必要な責任ある判断と行動について考えることができる。
- 制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる力:応用生物科学に関する課題解決のための筋道をデザインし、自立して仕事を計画的に進め、期限内に終わることができる。

### 海洋生物環境科学科

- 水圏(生物と環境)に関する専門的基礎知識と専門的知識の応用力:水圏(生物と環境)に関する専門的基礎知識を有し、その知識を社会で応用できる。
- 環境と食糧生産の諸問題に関する分析力:環境と食糧生産の諸問題を、データを基に分析できる。
- 環境と食糧生産の諸問題の解決に貢献する能力:分析した環境と食糧生産の諸問題を、解決に導くための貢献ができる。
- 専門分野における地域社会や国際社会で活躍できる能力:専門分野における地域社会や国際社会で、他と協力し活躍できる。

### 畜産草地科学科

- 草地・飼料の基礎的・応用的知識・技能:草地・飼料に関する基礎的・応用的知識・技能を有し、社会で活用できる。
- 家畜の基礎的・応用的知識・技能:家畜に関する基礎的・応用的知識・技能を有し、社会で活用できる。
- 資源・環境の基礎的・応用的知識・技能:資源・環境に関する基礎的・応用的知識・技能を有し、社会で活用できる。
- 食料・畜産業・農村の基礎的・応用的知識・技能:食料・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能を有し、社会で活用できる。
- 専門分野に関する国際性と課題解決能力:専門分野に関する国際性と課題解決能力を有し、社会で活用できる。

### 獣医学科

- 獣医専門知識:獣医師としての専門知識を有し、社会で活躍できる。
- 獣医的倫理観:獣医師としての正しい倫理観を有し、社会で活躍できる。
- 獣医の応用・実践・開拓力:獣医専門知識を生かして、応用・実践・開拓ができる。
- 地域・国際社会への貢献能力:獣医専門知識を生かして、地域や国際社会へ貢献できる。

## ■施設紹介



木花フィールド(農場)



田野フィールド(演習林)



住吉フィールド(牧場)



延岡フィールド(水産実験所)



附属動物病院



附属農業博物館

# 植物生産環境科学科

Department of Agricultural and Environmental Sciences



**地** 球の生態系・自然環境と農業生産との調和を図るための環境調和型農業に関する教育と研究を推進しています。また、安全で高品質な農産物を効率よく生産するための基礎知識や栽培技術を身に付けるためのカリキュラムと、植物生産と生産環境に関連した専門知識を国際的視野から深く学ぶためのカリキュラムを提供し、地域・世界の農業に貢献できる人材の養成を目指しています。

## 野菜栽培経験がなくても大丈夫 楽しく植物の知識を深められる



植物生産環境科学科 3年

**吉野愛海** Manami Yoshino  
宮城県 宮崎大宮高校出身

生物が大好きで、もっと植物のことを知りたくなって、学内にフィールドがある本学で植物のことを深めようと入学しました。大学に入って初めて土に触れ、作物栽培の実習は全くの初体験でしたが、先生方の丁寧な指導で楽しく授業を受けることができました。実家は農業とは無縁ですが、授業で栽培方法が学べますし、野菜園芸学では大根はどちらから摺り下ろすと辛みが強くなるかなど、生活に即した知識も学べるのが面白かったです。研究室は、植物病理研究室に所属。現在県内で問題になっているカンキツのウイルス病害に関する研究がやりたいですね。将来的には公務員の農業技術職になって、地域に貢献できればと考えています。



### 植物生産環境科学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
専門教育科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	<b>学部共通科目</b> ●基礎植物学 ●基礎生態学 ●基礎化学 ●基礎微生物学 ●基礎遺伝学 ●基礎環境資源経済学 ●スマートアグリ入門		<b>植物生産科学実験 I</b> 遺伝子増幅技術や組織培養、顕微鏡観察法など、植物や病害虫を分子・細胞レベルで解析する最先端手法を学びます。	
	<b>専門基礎科目</b> ●植物生産環境科学概論 ●栽培学 ●植物生産環境科学基礎実験・実習 I・II ●GAP概論 ●生物情報処理学 ●野菜園芸学		<b>農場実習 I・II</b> ●植物生理学 ●農地環境工学 ●農業経済学	
	<b>施設園芸学</b> <b>農場実習 I・II</b> 作物、野菜、果樹の栽培から収穫まで、無人田植え機、AIトラクター、農業散布ドローン、IoTセンサーなど様々な最新機器を使って実習を行います。		<b>農業・社会調査実習</b> 生産現場や地域社会について調査し、地域資源の有効活用や地域社会の抱える問題について分析します。	
			<b>農業・社会調査実習</b> ●農業政策論 ●作物生産学 ●生物生産機械学 ●生産流通施設学 ●生物応用力学 ●果樹園芸学各論 ●生物計測工学 ●水文・気象学 ●農業技術者倫理 ●農業経営学 ●植物バイオテクノロジー ●樹木生態生理学 ●グローバルアグリ体験講座 ●GAP指導員講座 ●土壌肥科学 ●国際農業論 ●植物遺伝・育種学 ●青果代謝生理学 ●農産物流通論 ●フィールド実践実習 ●生物生産システム工学	
		●学外体験実習 ●スマート農業インターンシップ ●専門英語 ●卒業論文		

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

# Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識、植物生産、生産環境、並びに環境調和型農業に関する基礎的・応用的知識、専門分野に関する国際的視点、社会貢献力及び指導力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 自然環境に配慮した農業生産や自然科学に対する関心をもっている人
- 大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎学力をもっている人
- 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力をもっている人
- 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組むことができ、国際的な視野と責任感をもっている人
- 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもっている人

## ラボやフィールドで植物生産の基礎から先端技術まで学ぼう！

本学科では、これからの日本や世界の農業事情を見据えて、植物を主体としたミクロ(DNAなど)からマクロ(形態形成)の世界まで、そして植物の栽培(種まきから収穫まで)、さらに植物生産を取り巻く環境の改善や新たな農業技術開発に向けた応用研究などをラボからフィールドまで幅広く修学できます。最近では、農業現場で利用できるロボット技術やICT等の先端技術の開発にかかわる農業DX、農業生産工程管理(GAP)に対応するための体系的な専門知識や技術をそれぞれ実践的に学習できるカリキュラムを設定しています。宮崎県は農業県でもあるため、研究によって得られた成果や新たな技術がそのまま地域貢献につながり、それらをさらに世界へ向けて発信することが可能です。



植物生産環境科学科  
講師 松尾光弘 Mitsuhiro Matsuo



ココに注目！

### 人工知能(AI)で未来の農業を変える!!

最近よく話題になる「人工知能(AI)」。AIは未来の農業を大きく変える予想されます。本学科では、AIを活用した野菜や果物の栽培・品質診断なども研究しています。具体的には、温室内の気温や日射量、養液濃度などを測るセンサーと手のひらサイズのコンピュータを組み合わせてデータを集積し、過去のデータから未来の植物の成長・状態を予測します。そして、ベテランの経験や過去の研究が反映された高品質な農業生産システムを作ろうとしています。また、果物をカメラで撮影し、過去の情報に

基づき画像で果物の内部の品質を予測診断する技術も研究しています。あなたもこれらの機器を使えばアイデア次第で農業×AIが始められますよ。近い将来、だれでも身近で楽しいAI時代が来るかもしれません。



## 卒業後の主な進路

公務員、教員、試験研究機関、農業団体、醸造業、種苗会社、農業法人、食品製造加工業、食品流通業、外食産業、農薬医薬産業、緑化産業、肥料会社、天敵関連企業、農業機械関連産業、農産施設関連産業、国際協力機構(JICA)、金融業、マスコミ、自営(就農)、大学院進学 他

## 取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(農業、理科)<sup>※1</sup>
- 学芸員<sup>※2</sup>
- 食品衛生管理者<sup>※3</sup>
- 食品衛生監視員<sup>※3</sup>
- 普及指導員<sup>※4</sup>
- 自然再生士補<sup>※5</sup>
- JGAP指導員<sup>※6</sup>

- ※1 別に定める教育職員免許法の科目の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
- ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。
- ※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。
- ※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。
- ※5 所定の科目の単位を修得し、関係機関に申請すると、資格を得ることができます。
- ※6 資格取得に関連する授業を受けることができるので、資格取得に有利になります。在学中に受験し、資格を得ることができます。

# 森林緑地環境科学科

Department of Forest and Environmental Sciences



**私** たちの身近に存在する森林・緑地は、人類がこの地球上で生き続けるために必要な資源を生産する場であるとともに、快適で安全な生活を過ごすための環境を守るうえで欠くことのできない存在です。本学科では森林や農山村・都市・海岸域を含めた緑地の機能を探求し、持続的な農林業、豊かな自然環境、そして快適な生活環境との調和を目指した教育研究を行います。

## 環境問題に関係する森林 環境保全に関する学びを深めたい



森林緑地環境科学科 4年

**阿部悠南** Yuna Abe  
宮城県 石巻高校出身

世界の森林減少の問題を目にして、森林の保全と環境の関係が気になるように。ウェブサイトでは本学の情報を見た際に、私がやりたいことがあるのはここだと感じて志望しました。入学してみると、すぐ近くに演習林があり、実習する際にも近場で体験ができるのが良いですね。造林学の実習では、山の下刈りや間伐も体験。チェーンソーで木を一本切った体験は格別でした。森林の役割は、木材にして売るイメージが強いかもしれませんが、木を植えて国土を守るといった点もあります。そんなさまざまな木材の利点を学べるのも本学科ならではの。本学は留学生も多いので、発表などで英語を聞くこともあります。選択すれば、測量士補や樹木医補などの資格も取得可能ですよ。



### 森林緑地環境科学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
専門基礎科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	<b>学部共通科目</b> ●基礎植物学 ●基礎生態学 ●基礎化学 ●基礎微生物学 ●基礎遺伝学 ●基礎環境資源経済学 ●スマートアグリ入門	●樹木学 ●構造力学 ●森林生態学 ●森林計測学実習 ●水文・気象学 ●森林計測学 ●環境リモートセンシング概論 ●遺伝生態学 ●測量学 ●樹木学実習 ●測量学実習	<b>環境リモートセンシング概論</b> 森林や自然環境の把握に欠かせない電磁波を使ったリモートセンシング計測技術について、その仕組みや実用例を実習も交えて学びます。	<b>森林保護学</b> 森林で発生する病虫害・獣害・気象害等の実例と発生メカニズムを学び、森林管理や緑化木管理の場でこれらに対処するための基礎的知識を身につけます。
専門科目	<b>●木本植物組織学</b> 木本植物組織学 樹木の幹を構成する細胞や組織について学びます。環境に適応して樹木が成長するために、細胞分裂や分化、それらの制御について理解してもらいます。	●森林経済学 ●木材化学 ●木本植物組織学実験 ●砂防学 ●森林利用学 ●木材工学 ●森林緑地空間情報学 ●樹木生態生理学 ●国土管理保全学	●森林計画学 ●景観生態学 ●環境材料学 ●水資源管理学 ●造林学 ●専門英語 ●森林政策学 ●応用力学・水理学 ●森林保護学 ●水理学 ●土質力学 ●植生立地学 ●土壌物理学 ●流域防災保全学 ●環境材料学実験 ●森林細胞学実験 ●農山村環境計画学 ●植生調査実習 ●森林計画学実習 ●農地環境工学 ●森林土壌学実習 ●森林資源利用科学 ●学外研修 ●造林学実験実習 ●緑の野外実習	●植物病理学総論 ●土壌肥科学 ●昆虫生態学 ●植物病理学各論 ●雑草防除学 ●総合的害虫管理学
			●環境データサイエンスとAI	●卒業論文
		●森林緑地フィールド特別実習		

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

## Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 森林・緑地の諸問題の解決に向けて熱意を持って自ら取り組む人
- 森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味と探究心を有する人
- 環境問題をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、その結果を表現する力を有する人
- 大学での学修の基盤となる幅広い知識や言語力、森林・緑地に関する基盤学力を有する人
- 様々な活動において他者と協力しながら課題解決を図るとともに、自らの能力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を有する人

### 森林を学ぶ場所として 宮崎大学はとても恵まれています。

宮崎県の森林面積は全国13位ですが、スギやヒノキなどの人工林蓄積は4位、素材生産量は面積が広大な北海道にはさすがに負けますが、次いで2位、国産材製材品出荷量は断トツの1位と、豊かな森林資源を背景に日本一活発な林業や木材産業があります。綾と祖母・傾・大崩の二つのユネスコエコパークがあるなど照葉樹林を中心とする天然の森は豊かですし、強烈な台風が来るため森林等の国土保全機能が重視される地域です。世界農業遺産の高千穂郷・椎葉山地域に見られるように、独特の文化を有し森林と共生する山村が九州山地に広がります。しかも、キャンパスから演習林まで車で20分ですし、日本美しの森お薦め国有林である加江田溪谷・双石山まで何と5分で着きます。



森林緑地環境科学科  
教授 藤掛 一郎 Ichiro Fujikake



### 「就職力の高さの秘訣は “学科の充実したサポート体制”にあり」

務員就職説明会」、鹿児島大学と合同で開催する「林業・木材産業就職説明会」などの様々なサポート体制が、本学科の就職力の秘訣になっています。

森林緑地環境科学科では、公務員・民間企業問わず、就職支援に力を入れています。2022年度も、林野庁・各県の林業職・農業土木職を中心に17名が公務員試験に合格しました。森林林業や木材、農業土木・防災に関連する民間企業にも多数就職が決まっています。本学科のカリキュラムは、林業、農業土木分野いずれの専門試験にも対応しているのが特徴であり、学科の講義を学べば自然と専門知識が身に付き、公務員や関連企業の就職に繋がるので、短期間の試験対策でも十分に合格が可能になります。加えて3年生になると配属先の研究室の教員が親身になって相談に応じるので早期に就職先を意識するようになり、早めの就職対策に取り掛かることができます。さらに本学独自の「公



### 卒業後の主な進路

公務員（農水省、林野庁、県、市町村など）、教員、林業、木材産業、農林業関連団体（森林組合系、土地改良事業団、JA系など）、環境・緑化・農業土木関連企業（建設コンサルタント、造園・建設会社）、大学院進学 他

### 取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状（農業、理科）<sup>※1</sup>
- 学芸員<sup>※2</sup>
- 普及指導員<sup>※3</sup>
- 林業普及指導員<sup>※3</sup>
- 自然再生士補<sup>※4</sup>
- 樹木医補<sup>※4</sup>
- 測量士補<sup>※4</sup>
- 森林情報士2級<sup>※5</sup>

※1 別に定める教育職員免許法の科目の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。

※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

※3 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。

※4 所定の科目の単位を修得し、関係機関に申請すると、資格を得ることができます。

※5 所定の科目の単位を修得し、別途条件を満たして関係機関に申請すると、資格を得ることができます。

# 応用生物科学科

Department of Biochemistry and Applied Biosciences



**バ** イオサイエンス分野の最先端技術を用いた生物の機能解明と活用、食品の機能と利用法及び安全性について探求しています。その研究対象は動物、植物、微生物、これらを活用した食品ならびにそれらを育む土壌・生態系にまで及び、最先端のバイオテクノロジーを駆使した研究を通じて、生命・食料・環境に関する幅広い知識を学ぶことができます。

## 微生物から食品まで 食品の化学変化を解明する面白さ



応用生物科学科 3年

**山村実央** Mio Yamamura  
宮崎県 宮崎学園高校出身

本学科は微生物から食品まで幅広く学べるのが魅力です。私自身オープンキャンパスで、本学科の榊原啓之先生が生物系全般を学べると紹介していたのにひかれて志望しました。幼いころからお菓子作りが好きなのですが、授業でメレンゲを作る際、卵白に少しずつ砂糖を入れる理由が分かりましたし、食品の中で化学変化がどう起こっているか解明できるのが楽しいです。生物化学では、呼吸の仕組みを学び、体の中は複雑だけど、効率的な仕組みになっていると分かりました。このように食品はもちろん微生物や体のことなど幅広い化学が学べ、1、2年から実験が多いのも魅力です。化学が苦手でも、基礎からしっかり教えてもらえて、好きをバックアップしてくれますよ！



### 応用生物科学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等				
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)				
専門科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)				
	<b>学部共通科目</b> ●基礎植物学 ●スマートアグリ入門 ●基礎動物学 ●基礎遺伝学	<b>生物化学II</b> 生体の恒常性を維持する様々な代謝反応について、有機化学や物理化学の知識を土台に、各代謝反応を特に生体エネルギーの観点から化学的に学びます。			
	<b>基礎科目</b> ●基礎化学(応用生物科学) ●生命化学概論 ●基礎微生物学(応用生物科学) ●有機化学 ●無機化学 ●生物化学I	<b>専門基礎科目</b> ●物理化学 ●生物化学II ●分析化学 ●有機化学実験 ●生物有機化学 ●微生物学実験 ●食品化学 ●生物化学実験 ●分析化学実験			●技術者倫理
	<b>食品化学</b> 食品を構成している主要成分の化学的性質について、食品の具体例を挙げて説明するとともに、食品成分の加工・貯蔵中の変化について学びます。	●食品製造学 ●土壌肥料学 ●酵素化学 ●植物遺伝・育種学 ●食品分析化学 ●微生物化学	<b>微生物化学</b> 微生物の物質代謝である各種発酵の化学機構、生理活性物質及び各種発酵生産のバイオテクノロジー分野について学びます。	●食品衛生学 ●食品保藏化学 ●栄養化学 ●入門セミナーII ●入門セミナーI ●化学英語II ●化学英語I ●生物機能科学実験 ●食品製造学・衛生化学実験 ●食品機能化学実験 ●生物工学実験 ●食品工学 ●応用生物化学実験 ●農産食品製造学 ●植物生理学 ●遺伝子工学 ●細胞工学 ●学外研修 ●微生物機能開発学 ●植物遺伝資源学 ●公衆衛生学 ●宮崎の地域活性化演習 ●畜産食品製造学 ●畜産食品科学 ●水産食品製造学 ●植物栄養生化学	●バイオサイエンス ●科学英語  ●卒業論文

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

# Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

応用生物科学科では、農学に関する基礎知識、数学及び自然科学に関する基礎知識、応用生物科学に関する知識、技術者の社会的責任、制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる力を身に付けた人材の育成を目標としています。



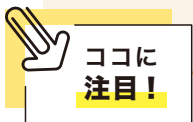
- 化学をはじめとする自然科学に対して強い興味と探究心をもっている人
- 化学や生物などの理科(自然科学)や数学、英語などの基礎学力を備えている人
- 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを実現する力をもっている人
- 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組もうとする人
- 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人

## 化学をツールとした 第一線の知識に触れてみませんか？

私たち応用生物科学科では、生命、微生物、植物、食品、動物資源といった多種多様で最先端な学問を、化学をツールとして学ぶことができます。例えば、私の所属する食品科学領域では、健康寿命延伸を目指して食品に秘められたチカラである機能性を探求しています。このように私たちの学科で学んだことは、今後私たちが直面するであろう生命・食料・環境問題を解決するために必要不可欠な知識となってきます。そして、身につけた知識を実際の社会に出た際に応用し、これらの社会問題を解決することができる人材の育成を目指しています。私たちと一緒にこの応用生物科学科で、みなさんが主役となる時代で活躍できる能力を身につけてみませんか？



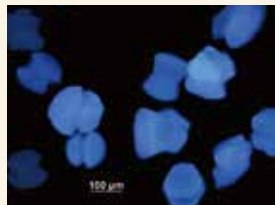
応用生物科学科  
助教 横山大悟 Daigo Yokoyama



### 応生発！最先端研究の紹介

#### 世界初！好熱性細菌のバイオミネラリゼーション

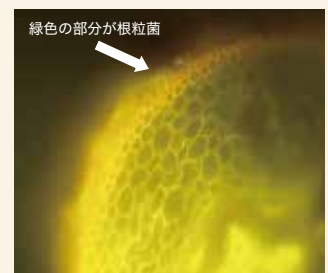
高温にて有機性廃棄物を酸に変換する微生物を探していたところ、細胞外に美しい形をした結晶を形成する細菌が偶然見つかりました。この細菌は60℃で活発になり、ギ酸とカルシウムのみからカルサイトと呼ばれる無機結晶を作ります。生物が鉱物を形成することをバイオミネラリゼーションといいます。この細菌はなんのためにそのようなことをしているのか明らかにしようとしています。地球深部の高温下では微生物起原の石灰岩が作られているのかもしれないですね。またこのカルサイトには蛍光特性があるので希土類を使わない蛍光体としての応用が期待されています。



カルサイトが蛍光を発する様子

#### 根粒菌の力をダイズ生産へ応用する！

作物生産のための窒素肥料は欠かせないものですが、マメ科植物と根粒菌は大気窒素を利用して生育することができます。共生窒素固定として有名なこの生物機能を農業生産に応用するために、ダイズの形質と共生窒素固定細菌の分子生態研究を行っています。近年、ダイズと根粒菌の親和性を支配する宿主遺伝子や根粒菌の地理的分布が明らかとなりました。これらの研究を通じて生物の生態機能をダイズ生産へ応用できるようになりつつあります。



根粒菌がダイズに感染する様子

### 卒業後の主な進路

食品製造業、流通業、醸造業、医療・製薬関連企業、化学工業、環境化学関連企業、農業関連団体、公務員、教員、大学院進学 他

### 取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(農業、理科)<sup>※1</sup>
- 学芸員<sup>※2</sup>
- 食品衛生監視員<sup>※3</sup>
- 食品衛生管理者<sup>※3</sup>
- 普及指導員<sup>※4</sup>
- 毒物劇物取扱責任者<sup>※5</sup>

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。  
 ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。  
 ※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。  
 ※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので、受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。  
 ※5 卒業後、勤務先の毒物劇物を取り扱う製造所、営業所または店舗で必要とされる場合に、この資格をもつことができます(受験等の必要はありません)。



# 海洋生物環境学科

Department of Marine Biology and Environmental Sciences



**海**が誕生してから、地球は他の惑星と異なる道を歩み始めました。海洋は地球環境の恒常性を担い、生物・非生物の未利用資源に満ちています。海洋を含む水圏環境について深く学び、その生物の多様性と利活用を理解・修得することによって、広く人類の未来について思索し、地域ばかりでなく、国際社会に貢献できる人材育成を目指します。

## 海が近い最高の環境で学べて 海に関する知識と技術が身に付く



海洋生物環境学科 4年

**川島 愛生** Namiki Kawashima  
神奈川県 桜丘高校出身

海が好きで海洋生物について学びたいと思いました。本学科は、海に関するさまざまな分野に精通している教授陣がそろい、自分がどんな分野に関心が高いかを探ることができます。実習も多いため、知識だけでなく技術も身に付きます。また、水産分野のことだけを学ぶのではなく、学科を飛び越えて、森林・植物学から獣医学のことまで様々な授業を受けられて楽しいです。幅広く海のことに関わりたいため、部活動でもウインドサーフィン部とウミガメ調査のサークルに入っています。またプライベートでもダイビングで海に潜って、毎回新しい発見があります。将来は仕事でも海に関われたら最高です。

### 海洋生物環境学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
専門科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学部共通科目			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎植物学 ● 基礎生態学 ● 基礎動物学</li> <li>基礎微生物学 ● 基礎化学</li> <li>スマートアグリ入門 ● 基礎遺伝学</li> </ul>			
	専門基盤科目			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋生物環境学実習</li> <li>海洋生物環境学基礎実験</li> <li>海洋生物環境学概論 ● 海洋生物分類学</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境微生物学 ● 海洋生物探査講座</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産食品科学 ● 水域生物生理学</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>水生生物解剖分類学実験 ● 水産化学</li> <li>基礎水域化学 ● 水族生理学実験 ● 魚類学</li> <li>水産化学実験1 ● マリンバイオテクノロジー</li> <li>水生生物体防御学 ● 魚類生理学</li> <li>サンゴ礁学 ● 基礎増養殖学 ● 無機化学</li> <li>水産食品微生物学 ● 組織学</li> <li>マリンダイビング論 ● 化学概論</li> <li>浅海生態学 ● 生物学概論 ● 水族館学</li> <li>海洋生物学実習</li> </ul>	
	<p><b>海洋生物学実習</b></p> <p>延岡フィールド周辺の海域に棲む生物を採集し、分類学の基礎知識を実物から学びます。集めた生物と知識により、ミニ水族館展示も企画・運営します。</p>		<p><b>海洋生物探査講座</b></p> <p>鹿児島大学の練習船「かごしま丸」に乗船し、東シナ海周辺で海洋観測やプランクトン観察および底引き網漁を体験する7日間の乗船実習です。</p>	
	<p><b>水族生産学体験講座</b></p> <p>水産に関わる最先端の研究施設・養殖施設などを見学し、水産の現場を実際に学ぶ授業です。現場を知り、様々な課題を肌で感じ、将来に役立ちます。</p>		<p><b>海洋生物探査講座</b></p> <p>鹿児島大学の練習船「かごしま丸」に乗船し、東シナ海周辺で海洋観測やプランクトン観察および底引き網漁を体験する7日間の乗船実習です。</p>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋代謝化学 ● 生物化学I ● 海洋微生物学実験</li> <li>水産遺伝子工学実験 ● 食品化学 ● 水産増養殖学</li> <li>水産飼科学 ● 海洋生物遺伝学 ● 魚病学</li> <li>水族病原微生物学 ● 海洋分子科学 ● 水産化学実験II</li> <li>微生物との共生 ● 海洋生物生産学 ● 魚類生態環境学</li> <li>昆虫生態学 ● 遺伝子工学 ● 水文・気象学</li> <li>森林生態学 ● 分析化学 ● 専門英語</li> <li>食品衛生学 ● 公衆衛生学</li> <li>水族生産学体験講座 ● 水産科教育法</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>水産法規</li> <li>藻類分類学</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業学概論</li> <li>水産経済学</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業論文</li> </ul>		

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

## Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、現場と食糧生産の諸問題に関する分析力・解決能力、特に海洋環境学分野における課題解決能力を重視し、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を海洋環境学分野の技術者として社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。更に地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味を有している人
- 海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組むことができる人
- 実験や観察において深く考察し、その結果を表現する力がある人
- 大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力を有する人
- 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる人

### 海の未知を探求し、 最大限に楽しみ・活かす

海洋生物環境学科は、少人数教育が特徴の一つです。最先端の研究を、他分野にわたり行う教員がそり、海洋資源、生物および環境について深く学び、社会に還元します。学生は、分類、保全、生理、病気、化学など多種多様な分野を学ぶことで、幅広い知識と専門性を高め、社会で活躍する人材となっていきます。座学で知識を学び、臨海実験施設、養殖関連施設での実習や、乗船実習などで実践力を身に付けます。宮崎という温暖かつ温かな環境で、安心した学生生活が送れることも魅力です。私の研究室では、魚が海で生きるための体内のしくみを研究します。革新的な養殖法の開発だけではなく、難病の発症機構にも研究をつなげ、水産および医学分野への貢献を目指しています。



海洋生物環境学科  
助教 宮西 弘 Hiroshi Miyanishi



### プラスチック その正体は“ミドリムシ”!

水たまりや水田でよく見られる0.1mm以下の単細胞生物ミドリムシ。本学科の林雅弘先生と産業技術総合研究所が共同研究を行い、この度、ミドリムシを主な原料としたバイオプラスチックの開発に成功しました。このプラスチックは、ミドリムシが体内で作出した物質に、カシューナッツの殻から取り出した成分を加えて合成されたもので、成分の約70%が植物性のためこれまでのプラスチックより製造の際に排出される二酸化炭素が削

減できるとされています。また、素材としての性質も、加工性がこれまでのプラスチックと同レベル、耐熱性はこれまでのもの以上とのことです。実用化にはまだ課題があるようですが、この環境に優しいバイオプラスチックが近い将来、身の回りで普通に使われるようになることを期待しています。



### 卒業後の主な進路

水産物・食品・飼料製造流通関連企業、  
漁運・漁協等団体、船舶会社、医薬品関連企業、水族館・博物館・海洋観光産業、  
公務員、教員、環境アセス・コンサルタント、試験・研究所、大学院進学 他

### 取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(水産、理科)<sup>※1</sup>
- 学芸員<sup>※2</sup>
- 食品衛生監視員<sup>※3</sup>
- 食品衛生管理者<sup>※3</sup>
- 潜水士<sup>※4</sup>

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。  
 ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。  
 ※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。  
 ※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので、受験に有利になります。在学中に受験し、資格を得ることができます。

# 畜産草地科学科

Department of Animal and Grassland Sciences



**全**国から動植物に興味のある学生が集まり、自給飼料に立脚した家畜生産や、安全で美味しい畜産物を食卓に提供するのための研究を行っています。対象となる分野は幅広く、野生生物・環境保全の場としての草地生態、遺伝資源利用、地球環境の保全、フードチェーンにおける衛生管理等、多岐にわたります。学んだことは実験動物や展示動物の管理にも応用できるでしょう。畜産と草地の両方の視点を身につけて、将来に活かしたい人を歓迎します。

## 牛や豚などの大動物に 近距離で触れ合える実践型が魅力



畜産草地科学科 3年

**日野翔馬** Syoma Hino  
愛媛県 新居浜西高校出身

将来は動物園の飼育員というのが私の夢。地元の動物園の飼育員に相談して、勧められたのが本学科でした。入学してみると、実際に農場に入っの搾乳や、体重測定など畜産の現場での作業を体験できます。これほど近距離で触れ合えるところも少ないと思います。授業では牧草の根に共生する菌や微生物のことも扱い、幅広い観点から畜産を学びます。さまざまなアプローチで学べるため、興味が深まります。私自身は安在弘樹先生の「草地システム生態学」の授業が特に面白いと感じています。入学前は動物の飼育員を志望していましたが、今では公務員として畜産関係の仕事に就くのも良いなと思っています。動物の福祉も学べる本学で、未来のための勉強を深めたいですね。



### 畜産草地科学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
専門教育科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学部共通科目			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎植物学 ● 基礎生態学 ● 基礎動物学</li> <li>基礎微生物学 ● 基礎化学</li> <li>スマートアグリ入門 ● 基礎遺伝学</li> </ul>			
	専門基盤科目			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産草地科学序説 ● 畜産草地科学基礎化学</li> <li>畜産草地科学基礎実習 ● 畜産草地科学概論</li> <li>草地・草原環境保全・修復学 ● 動物行動学</li> <li>畜産草地科学基礎実験 ● 動物生理学 I</li> </ul>			
畜産学	<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌管理学概論 ● 植物バイオテクノロジー</li> <li>栽培学 ● 動物環境管理学実験</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家畜栄養学 ● 草地システム生態学</li> <li>● 牧場実習 II ● 畜産食品科学 ● 環境草地学</li> <li>● 草類利用学 ● 飼料作物学 ● 衛生微生物学</li> <li>● 動物環境管理学 ● 飼料学 ● 動物育種資源学</li> <li>● 家畜栄養学実験 ● 草類遺伝資源・育種学実験</li> <li>● 食品化学 ● 動物遺伝育種学実験</li> <li>● 草類利用学実験 ● 食品製造学 ● 草地畜産論</li> <li>● 畜産食品科学 ● 水文・気象学 ● 分析化学</li> <li>● 草地生産・生態学実験</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動物生殖生理学 ● 動物生殖制御学 ● 動物育種学 ● 専門英語 ● 無機化学</li> <li>● 草地・飼料作物管理・評価実習 ● 家畜飼養管理学 ● 動物生理生理学実験</li> <li>● 食品衛生学 ● 動物生理学 II ● 地域環境保全論 ● 実験動物学</li> <li>● Tropical Forage Science and Biotechnology ● 薬理学 I ● 動物解剖学実習</li> <li>● 草地植生管理学 ● 農業経済学 ● 放牧生態学 ● 公衆衛生学 ● 動物福祉学</li> <li>● 動物解剖学 I・II ● 野生動物・動物園学 ● 畜産食品製造学 ● 動物衛生疾病学</li> <li>● 家畜飼養管理学 ● 有機化学 ● 動物衛生学 ● 食品分析化学</li> <li>● 実験動物学各論 ● 食品保藏化学 ● 学外体験実習 ● 畜産簿記学</li> <li>● 産業動物経営学 ● 産業動物情報解析演習 ● 牧場実習 II</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実験動物学実習</li> <li>● 毒性学</li> <li>● 市場動態調査実習</li> <li>● 家畜登録審査実習</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 草地学特別講義</li> <li>● 草地環境科学特別講義</li> <li>● 畜産学特別講義 I・II</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒業論文</li> <li>● 卒業研修</li> </ul>				

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

# Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

畜産草地科学科では、農学に関する基礎知識、草地・飼料、家畜、資源・環境及び食料・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能、専門分野に関する国際性と課題解決能力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 動植物に対する幅広い興味や関心を有する人
- 大学での学修の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力を有する人
- 実験や観察において深く考察する能力を有し、その結果を表現する力をもっている人
- 資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に熱意をもって取り組むことのできる人
- 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元できる資質を有する人



畜産草地科学科  
教授 飛佐 学 Manabu Tobisa

## 温暖な宮崎で動植物の生産・生態や環境との関わりを学ぶ

本学科には12の教育研究分野があり、また西日本最大級の附属牧場を有しています。温暖な気候を活かし、動物と植物を総合的かつ横断的に学ぶ教育や最先端の研究が、地域の生産現場や附属牧場を活用し行われています。例えば、畜産物の生産に欠かせないものの一つが飼料で、飼料の多くは植物に由来しています。飼料となる植物の質や生産量は畜産物全体の質、生産性や生産コストに大きく影響します。植物の生産量や質の向上には、土壌や土壌微生物などまわりの生物や環境なども深く関わっています。

さまざまな視点から動物と植物、これらを取り巻く生物や環境との関係を理解し、今ある課題を解決するために、共に学び、研究しませんか？



ココに注目!

### 西日本最大級の大学附属牧場施設での実践教育

農学部附属住吉フィールドは、宮崎市中心部の北約10kmに位置し、交通の便利な市街地にありながら総面積50 haの敷地と約300頭の家畜(乳牛50頭、繁殖母牛50頭、子牛60頭、肥育牛40頭、豚100頭)を有する西日本最大級の大学附属牧場施設です。住吉フィールドでは、広大な敷地を利用した粗飼料ほぼ自給の実績を活かして、家畜生産のみならず飼料生産から畜産物利用、防疫や衛生管理など、食と農の安全に関する総合的な知識・技術を実践的に学習することができます。牧場実習や動物環境管

理学実験など、本学科のさまざまな実習・実験で利用するだけでなく、学生の卒業論文や各種研究を行うための拠点にもなっています。また、大学独自ブランドとして、「宮崎大学Milk」や「宮崎大学Beef」の生産・販売を行っています。



### 卒業後の主な進路

公務員、農業関係団体、試験・研究所、飼料・種苗会社、畜産食品加工・流通、畜産業(牧場)、草地畜産コントラクター、緑地・緑化産業、環境アセス・コンサルタント、教員、動物園、大学院進学 他

### 取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(農業、理科)<sup>※1</sup>
- 学芸員<sup>※2</sup>
- 食品衛生管理者<sup>※3</sup>
- 食品衛生監視員<sup>※3</sup>
- 飼料製造管理者<sup>※3</sup>
- 普及指導員<sup>※4</sup>
- 家畜人工授精師<sup>※5</sup>
- 実験動物一級技術者<sup>※6</sup>

※1 別に定める教育職員免許法の科目の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。  
 ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。  
 ※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。  
 ※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。  
 ※5 所定の科目の単位を修得し、その他所定の要件を満たした人は卒業後に資格を得ることができます。  
 ※6 所定の科目の単位を修得すれば、4年次に受験することができます。学科および実地の両試験に合格した者は、認定登録申請により実験動物一級技術者の資格を得ることができます。

# 獣医学科

Department of Veterinary Sciences



**獣** 医師国家試験に対応する獣医学教育を基本として、動物の疾患の予防・治療に関わる獣医師、動物と人の共通感染症の防御を通じて動物と人の健康・福祉に貢献する獣医師を養成します。なかでも、南九州の特色である産業動物獣医師の養成に力を入れています。また、平成22年度にはわが国で初めて医学と獣医学が融合した大学院(医学獣医学総合研究科)が設置され、先進的な獣医療を実施する高度獣医師育成コースや国際的に活躍できる研究者育成コースへの進学が可能です。

## 口蹄疫を経験した宮崎で 牧場などで体験しながら学べる



獣医学科 5年

**松岡 瑞穂** Mizuho Mastuoka  
岡山県 岡山白陵高校出身

宮崎で起こった口蹄疫をニュースで見えており、何かできるのではと本学を志望しました。入学してみると、大学内の近いところに牛や豚がいますし、牧場でのフィールドワークもあるため、直接動物に触っての手術経験や、現場に行くことも多いです。大動物のイメージがある本学科ですが、臨床系の研究室では小動物の研究もできます。獣医師を目指した理由が、ハムスターの飼育経験からということもあり、大動物の面白さを感じながらも小動物の臨床に進みたいと思うように。今は研究室に通い、附属動物病院の入院の世話や手術の準備などを行っています。手術にも入り、器械出しや麻酔も積極的に手伝い勉強中です。犬猫だけでなくエキゾチックアニマルも触れる獣医師になりたい。



### 獣医学科 カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
基礎教育科目					
導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)					
課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)					
学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)					
学部共通科目		獣医動物行動学			
<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎植物学 ● 基礎生態学 ● 基礎動物学</li> <li>基礎微生物学 ● 基礎化学 ● 基礎遺伝学</li> <li>基礎環境資源経済学 ● スマートアグリ入門</li> </ul>		犬や猫、産業動物を中心に、獣医学が対象とするさまざまな動物種について、行動様式や行動の起こるしくみ、そのしくみが発達する過程などを学びます。			
専門基礎科目		基礎獣医学			
<ul style="list-style-type: none"> <li>動物育種資源学 ● 畜産草地科学概論</li> <li>家畜栄養学 ● 環境草地学 ● 動物育種学 ● 技術者倫理</li> <li>畜産草地科学序説 ● 動物環境管理学 ● 飼料作物学</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖学 I・II ● 獣医学概論・獣医学史</li> <li>動物生理学 I・II・III ● 組織学</li> <li>発生学 ● 動物遺伝育種学</li> <li>解剖学実習 ● 組織学実習 ● 実験動物学</li> <li>獣医学遺伝学 ● 生理化学 ● 薬理学 I</li> <li>獣医学実験動物学実習</li> </ul>			
獣医学概論・獣医学史		病態獣医学			
獣医学の理念や歴史を学ぶとともに、現役の獣医師の方々を外部講師として招き、社会的ニーズや、獣医師の職域の多様性、獣医師の責務を学びます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫学 ● 動物病理学 I ● 微生物学概論</li> <li>微生物学各論 I ● 寄生虫学 ● 寄生虫学実習</li> <li>動物病理学 II・III ● 微生物学各論 II ● 動物病理学実習 I</li> <li>魚病学 ● 動物病理学実習 II ● 魚病学 ● 獣医公衆衛生学 I・II</li> <li>動物感染病学 ● 動物感染病学実習</li> <li>臨床寄生虫病学</li> </ul>			
産業動物参加型臨床実習		応用獣医学			
地域の畜産農家さんのものを教員や獣医師とともに訪れ、実際の臨床現場において診断方法、適切な治療法などを学びます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>野生動物医学</li> <li>動物衛生学 ● 毒性学 ● 毒性学実験</li> <li>動物衛生学実習 ● 獣医疫学 ● 獣医公衆衛生学 I・II</li> <li>獣医公衆衛生学 I・II ● 獣医公衆衛生学実習 ● 人獣共通感染症学実習</li> </ul>			
獣医臨床学概論 I		臨床獣医学			
<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産学実習 ● 放牧生態学</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>獣医臨床学概論 II ● 産業動物臨床学 ● 馬臨床学</li> <li>獣医臨床学各論 I~III ● 臨床繁殖学 I・II ● 獣医外科学実習 II ● 産業動物・画像診断学実習</li> <li>小動物内科学実習 ● 獣医外科学実習 I ● 臨床繁殖学実習</li> </ul>			
その他		その他			
<ul style="list-style-type: none"> <li>獣医臨床特別講義</li> <li>獣医インターンシップ</li> <li>卒業論文</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>講座専修実験 I・II ● 獣文獣医学演習 I・II</li> <li>伴侶動物参加型臨床実習 I ● 産業動物参加型臨床実習</li> </ul>			
アドバンス産業動物学					
<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバンス産業動物学 I~III</li> <li>アドバンス応用獣医学 I・II</li> <li>アドバンス伴侶動物学 I・II</li> </ul>					

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

# Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 自然科学に対する幅広い興味や関心を有している人
- 学修の基盤となる幅広い知識や理科、数学、語学に関する基礎学力をもっている人
- 自然科学をはじめ、様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力がある人
- ヒトと動物の健康ならびに福祉の向上に必要な高度な専門知識の修得に対して主体的に取り組むことができる人
- 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人



獣医学科  
准教授 齊藤 暁 Akatsuki Saito

## 地域、世界で活躍できる 獣医師の養成を目指して。

獣医学科では、獣医師国家試験受験資格の獲得を見据えて、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学を多面的に学び、獣医師になるために必要な知識、技術の習得に努めます。本学科の卒業生は臨床獣医師、公務員獣医師、企業、研究職など幅広い分野で活躍しています。

3年生の終わりから始まる研究室活動では、分子レベルの研究から大動物の臨床まで、自分の興味、科学的指向に沿った研究を進めていきます。卒業論文の作成に取り組むなかで、科学的思考やプレゼンテーション能力が身に付きます。本学科には、さまざまなバックグラウンドを持つ教員がおり、とても刺激的な学生生活を送れると思います。獣医師を目指す皆さん、ぜひ本学科で学んでみませんか。



ココに  
注目!

## 宮崎で学ぶ実践教育 - Miyazaki + (プラス)連携教育で獣医師の育成 -

獣医学教育モデル・コア・カリキュラムが制定され、わが国の獣医学教育が大きく変わりつつあります。その中で宮崎大学が培ってきた獣医師育成の土台は変わることなく、実践的な教育を主体とした、自主的に学ぶ素地を身に付けた学生を育むことです。附属動物病院での診療に参加し症例から学ぶ臨床教育や人獣共通感染症教育・研究プロジェクトを軸にした感染症/防疫に関するユニークな教育、基礎～応用に段階的に進む充実したカリキュラム・マップ、南九州に根ざした“触れる”産業動物教育、など豊富な教育コンテンツを有する宮崎大学で獣医師への一歩を踏み出してみませんか。

また、東京大学、大阪公立大学との連携教育により講師派遣および遠隔講義を実施しており、これまでに感染症学、薬理学、臨床などの各分野で強みのある専門教育を相互に提供しています。この連携教育での講義は都市型と地方型の異なる問題解決能力を学び、それぞれに還元する有意義な教育材料となっています。



小動物臨床教育風景  
(附属動物病院における伴侶動物臨床実習)



イルカCTの撮影風景  
(イルカ生体でのCT検査の様子)

## 卒業後の主な進路

伴侶動物の臨床(イヌ、ネコなどの獣医師)、  
産業動物の臨床(ウシ、ブタなどの獣医師)、  
医薬品会社(営業職、研究職など)、飼料会社、  
公務員(公衆衛生など)、大学院進学 他

※多くの場合、獣医師免許を取得することを条件に、面接などの採用試験を受験し、採用の可否が決定されます。

## 取得可能な免許、資格

- 獣医師(国家試験受験資格)<sup>※1</sup>
- 食品衛生管理者<sup>※3</sup>
- 学芸員<sup>※2</sup>
- 食品衛生監視員<sup>※3</sup>

※1 所定科目の単位を取得すると、獣医師国家試験の受験資格を得ることができます。

※2 所定の単位を修得し、申請すると「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。